

東京清風園での生活をご理解いただくために

東京清風園では、ご利用者が快適な生活を過ごされますように、安全な環境づくりに努めておりますが、・ご利用者の身体状況や施設の人的物的限界等の様々な原因により、下記の危険性が伴うことを充分にご理解いただきますようお願い申し上げます。

- 居室内はプライバシーが守られる半面、職員の見守りが難しくなります。特に夜間帯は職員配置が少ないため、ご利用者お一人おひとりを常時見守ることが更に難しくなります。
- ご自宅より床材が硬く、広い生活空間の中、安全につかまる場所も限られています。そのため、歩行時の転倒、ベッドや車いすからの転落等による骨折・外傷等をされることがあります。
- ナースコールのご理解が難しい認知症の方等は、転倒・転落による事故の可能性が高くなる場合があります。必要に応じて、離床を検知するセンサー等を活用して事故の予防に努めておりますが、センサーを設けても転倒・転落を完全に防ぐことは難しく、また他の利用者への対応状況等によってはすぐに対応できないことがあります。
- 高齢者の骨はもろく、日常生活上の動作でも容易に骨折するおそれがあります。
- 高齢者の皮膚は薄く、血管はもろいため、着替えなどの日常生活上の介護による摩擦や接触により皮下出血や表皮剥離が生じることがあります。
- お食事は、ご利用者に適した食事形態を提供させていただきますが、加齢や認知症の症状等により、水分や食物を飲み込む力が低下しています。そのため、誤嚥による窒息や誤嚥性肺炎を発症する危険性があります。
- 高齢者は基礎疾患がなくとも、脳梗塞や心筋梗塞、肺炎等の疾病を発症する可能性があります。異変を察知した場合、できる限り速やかにご家族へ連絡をいたしますが、当施設職員が緊急に医療専門機関に搬送すべきと判断した場合、ご家族への連絡を待たず直ちに病院へ搬送することがあります。
- 風邪や消化器系、皮膚疾患等の感染症については、予防策を講じておりますが、集団生活となるため感染の危険性はご自宅より高まります。
- ご利用者の所持品（義歯・補聴器・衣類等）について、ご利用者本人ご使用中（職員がお預かりしていない際）の破損・紛失につきまして補償のかぎりではございません。

上記の内容の他、ご利用者ごとの身体・認知症等の状況及び内服薬の影響などから予測される危険性についてはその都度説明をさせていただきます。これらのことについてご留意いただき、ご理解くださいますようお願い致します。